文部科学省　経済産業省

資料３
産業競争力・研究力中核大学群に関するWG
（第２回） R8.7.30

前回議論の振り返りと
産業競争力・研究力中核大学群に求める要件

第2回　事務局資料

2026年7月30日

文部科学省　経済産業省

1. 前回議論の整理
2. 求める要件の方向性（産業競争力強化へのビジョン、経済圏への深い貢献）
3. ご議論いただきたい事項

第1回WGにおける主な意見 【1/6】

【本WGへの期待】

➢ 大学の研究力を産業競争力強化につなぐ制度としての産業競争力・研究力中核大学群への期待

- **共同研究**や**スタートアップ創出**、**知財活用**、**人材育成等**を通じて**産業界からの投資を呼び込む役割**を期待したい。
- **科学技術立国の実現**に向けて、**大学の研究力を産業競争力の強化につなげる**役割を期待したい。
- 大学の研究成果や人材が産業競争力の強化に貢献できるよう、**学術界と経済界との新たな段階の連携の構築**を期待している。
- **大学の知と地域の産業界・経済界との連携**を通じて、新たな産業の創出や地域経済の活性化を図り、それが我が国全体の成長につながることを期待したい。
- **国際的なネットワークを有するグローバルインターフェース**として、国内外の優秀な人材の受入れ・輩出を促進する役割が求められる。
- 産業・事業の革新に向けて、研究大学群が**データのハブとして機能**し、産学官の連携を加速することを期待している。

➢ 産官学連携と研究開発エコシステムの構築

- 産業競争力を強化する主体を大学単独で考えるのではなく、**大学・国研・企業が一体となった研究開発エコシステム**として捉えることが必要である。
- 大学のみならず、産総研、JAXA、NIMS、NICT等の**国立研究開発法人**も含めて、**経営・人材・研究戦略を一体的に検討**する視点が必要である。
- **国研との人材協働や人材交流**を積極的に進めるとともに、大学教員が国研の研究活動や運営に深く参画するなど、**組織の壁を越えた実質的な深い連携**を推進することは、**高度人材**としての**博士増**にも繋がるのではないか。

➢ 国家戦略に基づく研究大学群形成の必要性

- **我が国が目指すべき将来像**や**他国との差別化要因を明確化**した上で、その実現に向けて**産業競争力・研究力中核大学群が果たすべき役割を整理**することが重要。
- 産業競争力・研究力中核大学群の選定にあたっては、**その設置形態にかかわらず**、**高い研究力を有する大学を対象**とすることが重要である。
- 個々の大学が自大学の強みのみを追求するのではなく、国家観に立って**研究大学群全体として競争力を力強く高めていく**ことが重要である。

第1回WGにおける主な意見 【2/6】

【支援】

- 大学が**経営改革を実現**するには、また、組織対組織の**包括的・大規模な産学連携**を実現するには**10年以上の支援期間**が必要ではないか。
- 大学側の要件やコミットメントだけでなく**、政府としても**、長期的な産業政策・地域政策の中で産業競争力・研究力中核大学群をどのように位置付けるのかを明確にし、**長期的なコミットメントを示す**ことが重要である。
- 海外含め研究に求められる資金規模が大きくなる中で、**我が国の研究力を維持・強化するため**には、**このタイミングで十分な研究資金を投資していくことが重要**である。

- 大型の産学連携実現には**段階的な発展プロセスが存在**するため、各大学が示す構想については、**実現可能性を十分に精査**する必要がある。
- **支援規模**については、大学改革や研究基盤強化を牽引する観点から、**他の研究大学群制度も考慮**に入れた検討が必要である。
- **支援手法**としては、**基盤的支援に加え**、**成果に応じて**追加的な支援を行う**成果連動型支援**を組み合わせることが重要である。

- 高い研究力と成長可能性を有する大学を幅広く対象とするとともに、**川下の産業政策の視点を踏まえながら**、大学の在り方や支援の方向性を検討することが重要である。（関係省庁意見）
- 大学の研究力強化に向けては、文科省だけでなく**他省庁も**含めて、様々な考え方で大学を支援できる仕組みの検討も必要である。（関係省庁意見）
- 特に、国立大学のガバナンス・経営力強化に向けては、経営資源の配分や再投資に関する戦略的な意思決定が行えるような要件を設定することが必要である。（関係省庁意見）

※ 関係省庁意見と記載のない限りは委員からのご意見

第1回WGにおける主な意見 【3/6】

【評価】

➢ 評価方式・体制・頻度等の設計

- **産業界が参画する独立性の高い評価委員会を設置し、定量・定性の両面から評価**することが重要である。
- 意味のないKPIに縛られることがないよう、**ミッション・要件・KPIのロジックモデルの整理**が必要である。また、外部環境の変化が早い中、KPIの達成状況のみならず、**取組の見直し**や**改善策の提案のスピード**についても評価に織り込むことが重要ではないか。
- 制度の緊張感や信頼性を確保するため、**認定取消しを含めた仕組み**により**緊張感を維持**すべきである。ただし、**改善勧告**や**支援縮減**等の**段階的措置**を考えるべきである。
- 認定取消しだけでなく、**入替えを可能とする仕組み**が望ましいのではないか。

第1回WGにおける主な意見 【4/6】

【要件①：産業競争力強化へのビジョン】

➢ 目指すべき産業競争力・研究力中核大学群の姿

- 本施策の**価値**は**産業政策と大学研究を結びつける**ことにある。
- 大学が産業界のニーズを踏まえること自体は重要だが、**その時々の産業政策や流行テーマに右往左往するのではなく、長期的な産学官連携**を構築することが必要である。

【要件②：ガバナンス・経営力】

➢ 実効性のあるガバナンス体制の構築

- **まず産業競争力・研究力中核大学群の目指すべきミッションを明確化**した上で、**KGI・KPIを設定**し、その実現に**必要なガバナンスや経営体制を検討すべき**である。
- プロボストやCFO等に**実効的な権限が付与**されているか、**権限と責任が明確**になっているかが重要である。
- ガバナンス体制の有無だけでなく、**組織再編や資源再配分を実際に実行してきた実績も評価すべき**である。
- 産業政策に適合する観点では、秘匿性の高い研究も基礎から応用まで扱うことが前提になるが、**研究セキュリティ**や、**博士学生の修了要件**など、**フレキシブルに対応できるガバナンスの在り方**が必要となる。
- 役職を形式的に設置するのではなく、**経営判断に必要な情報や指標を可視化**し、**実効的な経営を行える体制**を整備すべきである。（関係省庁意見）

➢ 適切なリスクテイクが可能な戦略的な経営力とマネジメント機能の強化

- 産業競争力強化や価値創出を目指す上では、**適切なリスクテイクを前提**としたマネジメント体制が必要である。
- **理事長・学長の役割分担といった制度論にとどまらず**、学長をはじめとする**経営層**が**資源配分や投資判断を行う経営感覚を有している**ことが重要である。
- 独立性の高い医学部や附属病院を含め、**既存組織の壁を越えて資源配分や組織改革を実行できる経営力・ガバナンス**が重要である。
- 大学と産業界との人材交流に当たっては、**報酬・処遇の格差が障壁**となっており、**その改善が重要**である。

※ 関係省庁意見と記載のない限りは委員からのご意見

第1回WGにおける主な意見 【5/6】

【要件③：研究力・人材】

➢ 国際競争力のある研究拠点・研究コミュニティの形成

- 制度設計に当たっては、全ての大学を一律に支援するのではなく、**特定分野で国内外から高く評価される強みを有する大学**に**重点的な支援**を行うことが重要である。
- 国外から**優秀な研究者を招へい**するとともに、**日本の研究者の国際性向上**が必要である。（関係省庁意見）
- 国際的な研究活動を推進する上では、**研究セキュリティ**、**知的財産管理**、**輸出管理**への適切な対応も必要である。

➢ 産業競争力強化への貢献も踏まえた評価

- 委員による評価に加え、**産業界からの評価**を取り入れることが重要である。
- 特に半導体、量子、AIのような分野は、**大型研究設備**や**先端研究施設**は**研究競争力の源泉**である。
- 研究力評価では、論文・特許に加え、**博士人材の輩出、人材循環、研究インフラの共用化**を重視すべきである。

➢ 多様な研究人材の育成と活躍推進

- 産学連携に当たっては、**学内外の多様な研究分野を横断的に結び付けるコーディネート機能の強化**が重要である。
- 戦略的な知財化・標準化を担う**専門人材の育成・確保**が大学にも必要である。
- **将来の担い手となる博士人材や技術人材の創出**に力点を置くことも重要である。

※ 関係省庁意見と記載のない限りは委員からのご意見

第1回WGにおける主な意見 【6/6】

【要件④：経済圏への深い貢献】

➢ 産業界との継続的な共創関係の構築

- 企業と大学による大規模な共同研究を促進するためには、個社単位の関係のみならず、**面的なネットワーク形成**が必要である。
- 企業が**初期段階から大学での研究に参画**する仕組みづくりも求められる。
- 本事業を通し、**日本企業に見られる自前主義の抜本的な風土改革**も期待したい。
- **産業界の参画**や**資金の獲得状況**についても評価の観点とすべきである。

➢ 経済圏を支える人材育成と知の循環の強化

- 研究力の評価に当たっては、論文数や特許数だけでなく、**博士人材**、**技術人材**、**スタートアップ人材**、**将来のCTO人材**等の育成・輩出も重視すべきである。
- **大学・企業間で将来ビジョンを共有**し、**双方のトップによるコミットメント**の下、必要な人材像を明確化した上で、人材育成を戦略的に進めることが重要である。
- **契約学科**をはじめ、将来の担い手となる**博士人材や技術職員の育成に深くコミットする**方式の**導入義務化**なども重要である。
- 専門知を非専門家に伝える**「翻訳力」**や、多様な主体と連携し研究成果を**社会実装**につなげる人材の育成が重要である。
- 産学双方を理解し、連携を主導できる人材の育成に向けて、**大学と産業界が一体となった人材育成の仕組みを構築**することが重要である。
- **産学連携の成果を基礎研究や博士人材育成に還元**し、**研究力強化につなげる好循環**を構築することが重要である。
- **国外から優秀な研究者を呼び込む**とともに、**大学と産業界との人材循環を促進する**ことが重要である。

➢ スタートアップを含む経済圏への貢献

- 核融合、宇宙、量子、国産AI等の**成長分野**では、**スタートアップ等が大規模な資金調達**を行い、**研究開発の中核的な役割を担う**ようになっている。大学と企業の連携だけでなく、**大学の研究成果の実装や研究開発の担い手としてスタートアップの役割も視野に入れながら**施策を進めるべきである。
- スタートアップとの共同研究やデュアルユースを含め、**大学・企業・スタートアップがそれぞれの強みを生かしたエコシステム**をつくることが重要である。

1. 前回議論の整理

2. 求める要件の方向性（産業競争力強化へのビジョン、経済圏への深い貢献）

3. ご議論いただきたい事項

政府の産業政策のビジョンに沿っていることを前提とし、世界で競い成長するためのガバナンスと高度な経営力を求めた上で、特定分野での世界トップレベルの研究力と、経済圏への深い貢献を求め、各大学は戦略を策定・実行。

1 産業競争力強化へのビジョン		**・産業分野の中核として、産業政策と適合した、国際的な産業競争力強化へ貢献するビジョン**
	要件例	✓ 産業界の現状を踏まえた実効性ある産業競争力強化へのビジョンと戦略の策定、それらに基づく具体的な施策とコミットメント ✓ 産業政策との適合性（政策上の重点分野と大学の強みの適合、産業集積地域等との地理的近接性、等）
2 ガバナンス・経営力		**・産業界をはじめ国内外の多様な視点を取り入れ、世界で競い成長するための迅速かつ柔軟な意思決定ができる自律と責任のあるガバナンス体制**
	要件例	✓ 法人の長へのガバナンス、権限と責任の分担が明確な業務執行体制 ✓ 財源の多様性の確保 ✓ 経営戦略と研究開発戦略の統合 ✓ 各部局との調整に基づく実効性のある全学的改革
3 研究力・人材		**・特定分野において、世界トップレベルの研究大学に伍する国際的な研究力と人材育成**
	要件例	✓ 強み分野の特定・明確化 ✓ 特定分野における世界トップレベルの研究力 ✓ 部局横断でのミッション型研究チームの構築
4 経済圏への深い貢献		**・経済圏における特定産業とのサプライチェーン横断での深い関係性、産業界からの高い評価とコミット**
	要件例	✓ 企業との提携・共同研究・共同講座・契約学科等の実績 ✓ 特定産業におけるコンソーシアム・国プロ等での主導的役割

今回の主な議論対象（2・3）

政府の産業政策と適合したビジョン及び戦略に加え、産業界をはじめ国内外の多様な視点を取り入れ、迅速かつ柔軟な意思決定を可能とする自律と責任のあるガバナンス体制を求める。

1 産業競争力強化へのビジョン

- **産業分野の中核として、産業政策と適合した、国際的な産業競争力強化へ貢献するビジョン**

（求められる取組例）

- ✓ 産業政策と適合した実効性ある戦略の策定
  - ➢ 産業政策と適合した経営戦略・研究開発戦略の策定と資源配分
  - ➢ 産業集積地域や重点投資地域への研究・教育・産学連携拠点の整備
  - ➢ 強み分野における企業との組織対組織の連携に基づく社会実装戦略の策定
- ✓ 産業界や産業政策の状況を取り込み働きかけるためのIR･シンクタンク等の機能整備
- ✓ 大規模経済圏への波及効果、更に他の大規模経済圏や分野を横断した連携の可能性
- ✓ 上記等の取組における大学経営陣のコミット

評価の観点（例）

- 政府の産業政策との親和性
- 産業集積地域や重点投資地域との地理的近接性
- 政府の規制・標準化政策との適合の有無
- 政府・地方自治体等の産業政策策定への貢献状況（参画数・関与数等）

2 ガバナンス・経営力

- **産業界をはじめ国内外の多様な視点を取り入れ、世界で競い成長するための迅速かつ柔軟な意思決定ができる自律と責任のあるガバナンス体制**

（求められる取組例）

- ✓ 教学担当役員（プロボスト）・事業財務担当役員（CFO）の配置、権限を有する合議制の機関の設置
- ✓ 財源の多様性の確保（一定以上の外部資金割合の担保や資産運用）、産業競争力強化及び研究力向上の両者に資する多様かつ戦略的な資源配分、外部資金依存リスクの管理等
- ✓ 特定産業の企業経営者や専門人材の経営陣への登用等
- ✓ 経営戦略と研究開発戦略の統合（資金･人材･施設及び設備等）
- ✓ 各部局との調整に基づく実効性のある全学的改革
- ✓ ストックオプション・株式等の取得・取扱機能の導入・強化、知財のライセンス・移転による収益最適化

評価の観点（例）

- 経営体制の整備状況（CFO等）、権限と責任の明確さ、実効性
- 外部資金獲得額、外部資金比率
- 外部人材登用数・登用率
- 教育・研究・産学連携・国際化の統合的KPI設定
- 学内資源再配分割合、重点分野への投資集中率
- 企業ニーズ反映プロセス
- 学内での経営判断に資する研究・財務・人事データ等の整備・連携状況
- 効果的な組織再編の実績

※第１回WGからの更新箇所は青字

特定分野の国際的な研究力の強化、部局横断でのミッション型研究チームの構築、特定産業とのサプライチェーン横断での深い関係、産業界からの高い評価とコミットが求められる。

3 研究力・人材

- **特定分野において、世界トップレベルの研究大学に伍する国際的な研究力と人材育成**

（求められる取組例）

- ✓ 強み分野の特定及び、当該分野の国際的な研究力の強化（論文以外の指標も考慮）
- ✓ 国外を含む優秀な研究者の招へい、グローバルインターフェースとしての機能の強化
- ✓ 部局横断でのミッション型研究チームの構築による、研究力の強化と産業界への貢献
- ✓ 学際性・融合性、研究IR機能の強化
- ✓ 研究による知の価値化の実践・交渉（産業界からのニーズに対応する高い研究力、大型外部資金獲得、成果展開・社会実装）
- ✓ 戦略的な知財化・標準化を担う専門人材の確保・育成
- ✓ 研究インフラの共用、AI・データ基盤整備、ソフトウェア・データ公開等オープンサイエンスへの取組
- ✓ 研究セキュリティや輸出管理、インテグリティに案件ごとに対応する機能の整備
- ✓ 社会実装時における倫理的影響や法的・社会的リスクの評価
- ✓ 強み分野の拠点形成（WPI・COI-NEXT等）による国際的な研究力強化や研究基盤の構築

評価の観点（例）

- 世界トップレベル研究分野数
- Top10%論文割合、国際共著率
- 特許件数、ライセンス件数・額
- PoC件数
- 産業界認知度（個別政策部局のコミットメント）
- 研究データ基盤整備率

4 経済圏への深い貢献

- **経済圏における特定産業とのサプライチェーン横断での深い関係性、産業界からの高い評価とコミット**

（求められる取組例）

- ✓ 初期段階からの企業との提携、共同研究（フィージビリティスタディ含め）、共同講座等
- ✓ 特定分野で産業界においても即戦力となる人材の育成・輩出（契約学科、博士人材、研究開発マネジメント人材、スタートアップ人材、将来のCTO人材等）
- ✓ クロスアポイントメントや出向等の人材交流等
- ✓ 特定産業におけるコンソーシアムや国プロの企画及び組成、中核的役割の実践等
- ✓ スタートアップの創出・育成、共同研究・知財活用を含めた、様々な用途での研究成果の社会実装戦略の策定と取組
- ✓ 経済圏における他大学・研究機関との連携・共創
- ✓ 国研を含めた産官学連携と研究開発エコシステムの構築（共同研究や人材交流等）
- ✓ 上記等の取組における産業界や経済圏等からのコミットの獲得

評価の観点（例）

- 共同研究等件数・金額
- 人材育成実績（契約学科等）
- 人材交流実績
- コンソ・国プロ等代表機関数
- 企業経営層のコミットメント
- 地域雇用創出効果
- スタートアップ創出数
- インキュベーション施設の有無

※第１回WGからの更新箇所は青字

（参考）産業政策にも適合した戦略策定及び経営資源配分を行い、産業界や国研との広く深い連携を通じて、産業競争力及び研究力の強化に貢献。

図はイメージ
（量子分野の例）

産業政策
（日本成長戦略会議：量子分野）

主要な製品技術

- 量子コンピューティング
- 量子通信・ネットワーク
- 量子センシング

量子コンピューティング

- 需要面では、素材、電力、交通・物流、気象・創薬、防衛等の**各分野のユースケースを創出**
- 供給面では、他国に過度に依存しない自律的に発展可能な**量子計算基盤を確立（国産量子コンピュータ等）**
- **量子と高性能計算基盤とAIを組み合わせた**ハイブリッド型での開発・実証環境を整備
- **量子コンピュータに不可欠なケーブル、コネクタ、希釈冷凍機等の部素材・装置の開発を加速。**サプライチェーンの中で不可欠性を構築。

量子通信・ネットワーク

- ・・・

→ ・**産業政策の取り込み**

産業競争力・研究力中核大学

政策動向や産業界ニーズを取り込む
IR・シンクタンク機能

産業政策とも適合した
経営戦略策定と資源配分

国産量子計算基盤と産業ユースケースをつなぐ、一気通貫型の量子分野の産業競争力・研究力強化拠点

- **産業政策とも適合した**研究開発戦略の推進
  - ✓ 需要側企業の課題を量子計算に変換。PoCを展開し、ユースケースを創出
  - ✓ 国産量子コンピュータ実現に向け、方式横断での研究開発
  - ✓ 量子×スパコン×AIのハイブリッド環境を構築。チップ設計やアルゴリズム開発、実証を加速
  - ✓ ケーブル、コネクタ、希釈冷凍機、制御装置等の部素材・装置を評価し、標準化・産業化を推進
- 社会実装や産業競争力強化に貢献するポテンシャルのある**量子技術シーズの、基礎研究段階での集中的な磨き上げ**と、周辺の様々な科学技術・学術領域との**融合研究の推進**

スタートアップ支援機能・
知財戦略機能

大学 ⇔ 国研・産業界

- 組織対組織の産官学連携
- 研究開発エコシステム構築
- 人材交流・人材育成
- 企業とのオープン＆クローズ戦略の立案、標準化活動の展開　等

例

- 需要側企業との連携
  実データ・業務制約を用いたPoC、ユースケース実証、サービス開発
- 供給側企業との連携
  量子チップ、制御装置、ミドルウェア、部素材・装置の共同研究・評価
- 国研との連携
  G-QuAT等のテストベッド、製造基盤等を活用した研究・人材育成

→組織対組織の産官学連携を超え、経済圏における特定産業とのサプライチェーン横断での深い関係性を構築し、産業界からの高い評価とコミットを得る

大学 → スタートアップ
- スタートアップの創出・支援
- ライセンス供与　等

スタートアップ → 大学
- ライセンス収入
- 株式によるキャピタルゲイン
- 共同研究収入　等

国研

- 産総研G-QuAT
- 理研
- QST
- NIMS
- NICT　等

産業界

需要側
- 素材・化学
- 電力・エネルギー
- 交通・物流
- 気象・防災
- 創薬・医療
- 防衛・安全保障　等

供給側
- 量子コンピュータ
- HPC・クラウド・AI
- ソフトウェア
- 半導体・制御装置
- 部素材・装置　等

（大学発）
スタートアップ

❶ 産業競争力強化のビジョン　の取組の一例

❹ 経済圏への深い貢献　の取組の一例

1. 前回議論の整理

2. 求める要件の方向性（産業競争力強化へのビジョン、経済圏への深い貢献）

3. ご議論いただきたい事項

ご議論いただきたい事項

（有識者からのプレゼンも踏まえ）主に以下の観点からご議論いただきたい

- 産業競争力・研究力中核大学群に求める要件のうち、特に**①産業競争力強化へのビジョン、④経済圏への深い貢献について、あるべき評価指標や求められる取組はどのようなものか。**

- 自らの研究力をさらに強化しつつ、産業競争力強化に貢献する研究大学は多様な在り方が考えられるところ、**我が国においては具体的にどのような姿が想定されるか。**

- 我が国において、研究大学が、自らの研究力をさらに強化しつつ、経済圏の産業転換や産業競争力強化に貢献するために、**産業界に求められることは何か**。**政府としてどのような後押しが求められるか。**

参考

（参考）骨太の方針・日本成長戦略での産業競争力・研究力中核大学群の位置づけ

第４回日本成長戦略会議　総理発言（抄）　令和8年4月22日

松本文科大臣と赤澤大臣は、産業競争力強化に貢献する新たな大学群の形成に向けて、１７の戦略分野を中心に、特定分野において特に高い研究力を有する大学を中長期的に支援する制度の創設を検討してください。

経済財政運営と改革の基本方針2026（骨太の方針）（抄）　令和8年7月21日閣議決定

（「技術で勝ってビジネスでも勝つ」新技術立国）

17の戦略分野での研究開発・社会実装を中心に、世界の学術フロンティアを先導する取組などを推進し、日本に強みのある技術や人材育成の継続的な支援を行う。基礎研究や若手研究者の挑戦的研究の支援、日本人研究者の海外派遣や国際共同研究を通じた先端研究の推進、高度専門人材等の科学技術人材の育成を進めるとともに、産学共創の拠点の形成など、それらを支える研究インフラ構築を行う。**新たな研究大学群に係る制度新設**や産学連携した学位プログラムの支援、国立研究開発法人の機能強化によって、**先端科学環境と産業競争力強化を実現する。**

日本成長戦略（抄）　令和8年7月21日閣議決定

「技術で勝ってビジネスでも勝つ」新技術立国の実現

17の戦略分野を中心とする産業競争力強化に貢献する、新技術立国の核となる新たな大学群の形成に向け、特定分野において特に高い研究力を有し高度な経営を行う大学を認定し、当該分野での研究開発及び社会実装（研究環境の整備を含む。）を中長期的に支援する新たな制度の創設について検討し、2026年度中を目途に結論を得る。